

第5学年社会科学学習指導案

日時 令和4年9月6日(火) 5校時

児童 5年2組 26名

指導者 佐藤 愛美

1 単元名 未来を支える食料生産 3 これからの食料生産(「小学社会5年(教育出版)」)

2 単元について

これまでに、「米づくりのさかんな地域」では外国産米との競争について、また、「水産業のさかんな地域」では、輸入の多さについて学びながら、生産に関わる人々の工夫と願いを学習してきた。

本単元では、日本の食料自給率の低さと輸入依存度の高さを捉え、国内の食料生産が向き合う課題や、発展させていくための取り組みについて、多角的な視点で学んでいく。そして、今後の国内の食料生産の発展について、これまでの学習を関連付け、できることを考えていくことをねらいとしている。

3 児童について

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組む児童が多いが、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりすることに苦手意識をもっている児童も多い。自信がもてずにいる様子も見られる。また、資料から情報を適切に取り取り、関連付けて考える力には個人差があるのが現状である。資料の見方を丁寧に扱い、全体で共有していく必要がある。






4 単元の目標

- (1) 我が国の食料生産の概要や、食料生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 **【知識及び技能】**
- (2) 食料の生産や輸入に見られる課題を把握して、その解決に向けて多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- (3) 我が国の食料の生産や輸入について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。 **【学びに向かう力、人間性等】**

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取り組みなどについて、地図帳や地球儀、統計などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ② 調べたことを文や表などにまとめ、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	① 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取り組みなどに着目して、問いを見だし、食料生産の概要や食料生産が国民生活に果たす役割について考え、表現している。 ② 学習したことともに、これからの農業などの発展に向けてできることを消費者や生産者の立場から多角的に考え、適切に表現している。	① 我が国の食料の生産や輸入について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことをもとに、これからの農業などの発展について消費者や生産者の立場から多角的に考えようとしている。

6 指導と評価の計画 ※網掛けは評価したことを記録に残す評価 太字は指導に生かす評価

時	ねらい	評価方法と【評価規準】	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
1	食料輸入の現状に着目して、これからの食料生産や輸入の進め方についての学習問題をつくることができるようにする。	<p>ノートの記述や発言内容から「資料から読み取ったことをもとに、これからの食料の生産や輸入に関する学習問題をつくり、表現しているか」を評価する。【思一①】</p> <p>ノートの記述や発言内容から「これからの食料の生産や輸入に関して予想を話し合い、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしているか」を評価する。【態一①】</p>	 <p>興味や関心を高める</p>	 <p>共に考えを創り上げる</p>	
学習問題：国内の食糧生産を発展させていくためには、どうしていけばよいのだろう。					
2 本時	食料の輸入について、長所と短所、消費者と生産者の立場など、多角的な視点で整理し、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを理解できるようにする。	<p>ノートの記述や発言内容から「食料を輸入することの長所と短所について、資料を的確に読み取って整理し、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを理解しているか」を評価する。【知一①】</p>		 <p>互いの考えを比較する</p>	
3	国内の食料生産の課題を解決するための取り組みに着目して、国内で食料を生産し、安定して確保するには様々な立場からの協力が大切であることを理解できるようにする。	<p>ノートの記述や発言内容から「国内の食料生産を発展させていくための取り組みについて、生産や販売、消費などの面から多角的に理解しているか」を評価する。【知一②】</p>		 <p>協働して課題解決する</p>	
4	これまでの学習を整理して、国内の食料生産の発展に向けてできることを、生産者の立場と消費者の立場を関連付けながら考え、これからの生産や食生活についてまとめることができるようにする。	<p>ノートの記述や発言内容から「食料生産に関わる人々の働きや、消費と生産の関わりなど、調べて分かったことをもとに、これからの食料生産の発展について考え、適切に表現しているか」を評価する。【思一②】</p>		 <p>共に考えを創り上げる</p>	 <p>知識・技能を活用する</p>
5	これからの生産や食生活についてまとめることができるようにする。	<p>ノートの記述や発言内容から「調べたことを生かして、これからの食料生産の発展や食生活のあり方について自分の考えをまとめようとしているか」を評価する。【態一②】</p>			

7 本時の指導計画

(1) 目標

食料の輸入について、長所と短所、消費者と生産者の立場など多角的な視点で整理し、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを理解できるようにする。

(2) 評価規準

観点	概ね満足できる児童の姿	努力を要する児童の手立て
知識・技能 食料を輸入することの長所と短所について、資料を的確に読み取って整理し、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを理解している。	資料から食料を輸入することの長所と短所について読み取り、多角的な視点で捉え、食料を安定的に確保するためには国内生産を続けていく必要があることを理解している。	「値段」「安全性」「食料の不足」「環境」などの観点となるキーワードに着目して考えさせる。

(3) 手立て

① 少人数においての話し合いの手立て

- ・ 3人グループで、タブレットを使ってお互いの考えを比較しながら交流する。☆1

② 全体の話し合いの手立て

- ・ 立場が違うことでの長所や短所を明確にしなが、話し合いを進める。☆2

(4) 展開

段階	学習活動 発問 (○)・予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価
つかむ 7分	<p>1 問題をつかむ</p> <p>○ 資料Aから分かることは何ですか。</p> <p>C 国産よりも外国産の方が安い。</p> <p>食料の輸入には、どのような長所や短所があるのだろう。</p> <p>2 学習の見通しをもつ</p> <p>○ 食料の輸入は、どのような長所や短所があるでしょうか。</p> <p>C いろいろな物が安く手に入る。</p> <p>C たくさん食べられる。</p> <p>C 輸入がなくなると食べられなくなる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜や牛肉は国産より外国産の方が安価であるという「長所」、外国産の食料は特に安全性の確認が求められるという「短所」を捉え、この後の読み取りの視点を与える。 ・ 身近なお店のちらしなどを提示し、輸入の影響をより実感できるようにする。 ・ 前時の学習を想起させ、これまでの学習を踏まえ、自分たちの生活とつなげて考えられるようにしたい。
深める 30分	<p>3 資料を調べ考える</p> <p>(1) 自分の考えをまとめる。</p> <p>(2) 3人グループで交流する。</p> <p>4 資料から考える</p> <p>C 値段が安いと、消費者としては嬉しい。生産者としては、外国産の安い食料が増えて競争が激しくなるという心配がある。</p> <p>C 外国産は、消費者として安全性が心配。生産者としては、安全性を大切に生産して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つの見方だけでなく「生産者」と「消費者」、「日本」と「外国」の両面から考えていくことを確かめる。 ・ ロイロノートを使って、お互いの考えを比較しながら交流し、友達の考えを追記するようにする。(☆1) ・ 同じ資料や事実でも、別の立場から見ると、新たに気付くこともあり、立場によって長所が短所に、短所が長所になる場合があることを実感させ、多角的に捉えられるようにする。(☆2)



互いの考えを比較する

	<p>いることに自信をもって売れる。</p> <p>C 森林を切り開いていることについては、日本としては食べられないのは困るから仕方がない。外国としては、環境に悪いからやめてほしいと思う。</p> <p>C 輸入に頼りすぎると、相手国で事故や災害があったとき、食料が手に入らず困ることがある。</p> <p>○ これからも食料の輸入を進めていくべきでしょうか。</p> <p>C 輸入しないと食料が不足するかもしれないけれど、国産は安心して食べられるから、自給率はもう少し上がってほしい。</p> <p>C 環境のことも考えて、輸入は少し減らすべきだと思う。</p> <p>C 米や水産物は各地で作られているけど、自給率は減っているから、輸入すべき。</p> <p>○ 日本でこれからも食料生産を続けていくために何をすればいいのでしょうか。</p> <p>C 安全な日本の米を、外国で売る。</p> <p>C 外国産よりも安い野菜をつくる方法を考える。</p> <p>C 小麦や大豆をもっと国内で生産する。</p> <p>C 国産の食料をもっとお店で売る。</p> <p>C 日本産を買うようにすればいい。</p> <p>C どこでどのようにつくられているかを知って買う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入に伴う心配な点や短所を捉えつつも、身近には輸入食品が流通しており、自分たちの食生活を支えていることをおさえる。その上で、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割が大きいことをおさえる。 <p>知識・技能食料を輸入することの長所と短所について、資料を的確に読み取って整理し、安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを理解しているか。(発言・発表, ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりや水産業の学習も振り返り、これまでの学習や調べて分かったことを根拠に話し合わせる。様々な考えがあってもいいことをおさえる。 ・生産者の立場からその発展に向けて何をすればいいのか、消費者の立場から何ができるのかを考えさせる。
<p>振り返る 8分</p>	<p>5 学習をまとめ、振り返りをする</p> <p>(1) まとめをノートに書く。</p> <div data-bbox="368 1597 882 1767" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>食料の輸入には、消費者にとって値段が安くなるという長所、安全性や環境が心配という短所がある。生産者にとっては、競争がはげしくなるという短所がある。</p> </div> <p>(2) 振り返りをノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を板書に残し、まとめるときの助けとなるようにする。 ・立場によって長所や短所が異なることにも触れる。 ・なるほどと思ったこと、友達と交流して良かったことなど視点を与えて書かせる。

(5) 板書計画

9/6

㊦食料の輸入には、どのような長所や短所があるのだろう。

㊧安く買える。たくさん食べられる。安全が心配。

㊨食料の輸入には、消費者にとって値段が安くなるという長所、安全性や環境が心配という短所がある。生産者にとっては、競争がはげしくなるという短所がある。

資料ア	資料イ	資料ウ	資料エ
国産より外国産の方が <u>値段が安い</u>	輸入された食料の <u>安全性</u> を検査	輸入品にかかる税金の引き下げ→ <u>値段が安い</u>	日本への輸入のために森林を切り開いている <u>環境</u>
<u>消費者</u> うれしい	<u>消費者</u> 不安	<u>消費者</u> うれしい	<u>日本</u> しかたない？
<u>生産者</u> 競争が心配	<u>生産者</u> 安全性を大切に	<u>生産者</u> 競争が心配	<u>外国</u> やめてほしい？

😊 長所も短所もある…消費者と生産者、日本と外国の立場によって変わる

電子黒板

輸入を進めていくべき？
国内生産を続けていくためには？